

令和8年度 学校経営計画書

石川県立大聖寺実業高等学校

学 校 長 藤 崎 勝 治

1 教育目標

真理と正義を愛し、知性をみがき個性の伸長に努め、人間性豊かでたくましい産業人を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 体験的な学習や資格取得指導を通じて達成感や自己存在感を持たせ、生徒の自己肯定感・自己有用感を高める指導を行っている。
- ② 南加賀地区唯一の専門高校として、地元産業界、関係機関の支援や地域社会との連携を深める中で、多様で個性的な生徒の進路を100%確保し、地域のニーズに応えることができている。
- ③ 工業科・商業科・普通教科の連携した指導内容・指導方法の深化に努めている。
- ④ 自然災害等に対する危機管理体制及び防災教育の充実による安全・安心な学校づくりの強化が求められている。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 体験的な学習を通して、自ら課題を見つけ主体的に解決する態度を身に付け、将来の産業人としての専門知識・技能の習得を図る。
- ② 基本的な生活習慣の確立と自立心の向上を図り、安全を意識して行動できるとともに、規律と品位を備えた心豊かでたくましい産業人を育てる。
- ③ 教科学習、特別活動等学校の教育活動全体を通じて、チャレンジ精神を鍛え、奉仕の精神を養う。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 全ての教職員が本校の使命や「目指す生徒像」を共有し、チームとして業務を組織的・効率的に遂行する。
- ② 「多様な生徒」に対して、工業科・商業科及び各教科の専門性を活かしながら、組織的な指導体制を構築する。
- ③ 「できる・期待される」といった有能感・信頼感を醸成する中で、生徒理解のための共通課題を明確化し、学校改革を推進する。
- ④ 地域との積極的な連携により、郷土の文化やふるさとに誇りをもつ心豊かな生徒を育成する。
- ⑤ 日頃から危機管理の意識を高め、不測の事態においても適切に対応できる実践力ある組織となる。
- ⑥ 教職員が担うべき教育活動に専念できるよう、健康に留意する。

3 今年度の重点目標

- ① 基本的な生活習慣の確立を基盤とし、生徒が資格取得等に挑戦することで自己肯定感を促進させ、自立した学習習慣の確立を図る。
- ② Society5.0時代に役立つAI・IoT教育や1人1台端末を効果的に活用した指導方法の工夫・改善により、生徒の個別最適な学びと主体的・対話的で深い学びを実践し、確かな学力を身に付けた地域に期待される人材を育成する。
- ③ 学校の教育活動に加え、外部と積極的につながることで、多様な見方・考え方を取り込み、生徒の将来の産業人として求められる人間力を磨き、他を思いやる心豊かな人間性を涵養する。
- ④ 開かれた学校の観点からホームページやSNS等を活用し、本校における特徴的な教育活動の情報を積極的に発信する。
- ⑤ 危機管理意識を高め、緊急時にも適切に対応できる学校組織を構築する。
- ⑥ 教職員のウェルビーイングを高めるために、校務の効率化・平準化、高い再現性を実現し、より効果的な教育活動を行う。